

<受験生への塾長メッセージ>

推薦入試で第1志望校合格を勝ち取ろう

— 同時に、偏差値アップを果たそう —

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 推薦入試で第1志望校合格を果たすにはどうしたらよいですか。

A : 推薦入試には、書面審査と作文・論文試験を含む面接試験がありますので、それぞれの対策を立てることが大切です。

Q 2 : 書面審査対策はどのようにしたらよいのですか。

A : (1)遅刻・早退・欠席をできるだけ少なくすることが第一です。

(2)実技教科を含め、全教科とも定期試験で 100 点満点を取り、学校成績アップを図ることが第二です。

(3)英検、漢検、数学・算数検定の 3 大検定の合格を図ること、開倫ユネスコ協会文芸大賞はじめ様々な賞やスポーツ・芸術にチャレンジして入賞を果たすこと、ボランティア活動など社会的活動を精力的に行うことが第三です。

Q 3 : 作文・論文試験を含む面接試験対策はどのようにしたらよいのですか。

A : (1)「何のために生きるのか」「社会に出てどのような仕事や活動がしたいのか」「第 1 志望校に合格したら、入学後どのようなことがしたいのか」などは必ず問われます。ですから、自分の頭で考え、自分のことばで明確に答えられるようにしておくことです。

*「何のために受験勉強をしているのか」を絶えず考え、入学を希望する学校への「志望動機」を明確にすることが大切です。

(2)SDGs(Sustainable Development Goals、2030 年に向けての持続可能な開発目標)も出題可能性が極めて大です。ですから、SDGs の 17 項目の一つ一つの意味をよく「理解」した上で、自分の最も興味・関心のある項目についてよく調べ、「理解」する。そして、これからどのようなことがなされるべきか、また、自分としてはどのような取り組みをしたいのかをよく考える。それを文章にまとめ、発表できるくらいにまでしておくことです。

(3)コロナ関連の出題の可能性も大きいと予想されます。そこで、コロナ禍での生活や勉強について、自分の考えをまとめておくこと。WITH コロナ、AFTER コロナの過ごし方を考えてまとめておくことです。

Q 4 : それらの対策を立てるためにどのように情報を収集し、また、勉強をしたらよいのですか。

A : (1)新聞を毎日よく読むことが第一です。SDGs やコロナ禍に関する記事をよく読み、書き写したり切り抜くこと。その上で、「キーワード」の意味(定義)を含め正確に身に付け、「定着」させて、作文・論文や面接で表現できるまでにしておくことです。

(2)「人生いかに生きるべきか」「何のために勉強をするのか」などについて書かれた本を

よく読み、「よく生きるとは何か」「何のために働くのか」「何のために学ぶのか」などをよく考え、自分の考えをまとめておくこと。自分のことばで表現できるまでにしておくことです。

(3)そのために読書をしっかり行うこと。読書も立派な受験勉強です。お勧めの本は、次の3冊です。

① 1冊目は、内村鑑三著「後世への最大遺物、デンマーク国の話」です。人は死んだあと、後の世に何が遺(のこ)せるのかがわかりやすく書いてあります。

② 2冊目は、同じく内村鑑三著「代表的日本人」です。日本を代表する5人が、どのような生き方をして、後の世に何を遺したのかがわかりやすく書かれています。

③ 3冊目は、福沢諭吉著「学問のすすめ」です。人は何のために学ぶのか、何を学んだらよいのかがわかりやすく書かれています。

*この3冊は、いずれも岩波書店の岩波文庫に収められています。どこの図書館にもあります。3冊目の「学問のすすめ」は、いろいろな出版社から出ています。いずれも現代の古典といえます。行きつ戻りつしながらじっくり時間をかけて何回もしっかり読み、自分の血や肉としてください。

Q 5 : 最後にお聞きします。私は大学入試の受験生なのですが、模擬試験の偏差値を急上昇させるコツを教えてください。

A : 二つあります。

(1)一つ目は、これで受験勉強をするぞと自分で決めた本(テキストや参考書、問題集など)は、何が何でも最後までやり抜くことです。1回やり終えたら2回、3回、4回、5回と何回もやり直してスミからスミまで「理解」し、すべて「定着」する(身に着ける)まで繰り返し勉強し続けることです。1回勉強し終えたら偏差値は1アップ、2回したら2アップ、3回したら3アップと考えることです。受験勉強は「回数」だからです。偏差値を15アップさせたかったら、15回繰り返すことです。

(2)二つ目は、模擬試験や過去問などの一度解いた問題は解答・解説も含め必ず復習し、すべて「理解」し、「定着」する(身に着ける)ことです。

①英語なら、一度解いた問題の本文と設問、解答・解説を学校の教科書と同じように「すらすら」とよく読めるようになるまで「音読練習」を繰り返すこと、よく書けなさそうな語句は書き取り練習をすることです。これだけで偏差値は必ず10～15アップします。

②数学なら、一度解いた問題を何も見ないで「ノートに」もう一度解いてみる。解けない問題は解答・解説を「ノートに」書き写し、しばらくしてから何も見ないで「ノートに」解いてみる。解けるようになるまで「ノートに」何回も解いてみる。ことです。

*「ノートに」がコツです。

(3)開倫塾では、授業のある日もない日も、夕方から10時30分(東京は10時)まで自学自習をすることを、すべての塾生の皆様に奨励しています。開倫塾の塾生である間に「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」「自己学習能力」を身に着け、「学習習慣」を身に着けましょう。辞書・新聞・読書を活用して読解力を身に着けることも、「学習習慣」としてしてください。この「学習習慣」は、第1志望校合格後も、社会に出ても役に立ちます。

*以上を参考に、「推薦入試」も含め、第1志望校合格を果たしてくださいね。

2020年10月9日(金)